

令和元年度 第2回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 令和2年3月17日(火) 午後2時00分～午後3時00分
- 2 場 所 千葉市役所議会棟 第4委員会室
- 3 出席者 (委員)
小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、柴田健委員
馬場宏輝委員、前田信治委員
(事務局)
那須生活文化スポーツ部長、塚瀬公益財団法人千葉市スポーツ振興財団施設長、
山崎スポーツ振興課長、笠井スポーツ振興課長補佐、曾根担当課長補佐、伊橋主査、
草場主査、田口主任主事
平田オリンピック・パラリンピック振興課長、明妻オリンピック・パラリンピ
ック調整課主査

4 議 題

(1) 報 告

- ア 市民意識調査の結果について
- イ WEB アンケート調査の結果について
- ウ 令和元年度スポーツイベントの開催状況について
- エ 令和元年度トップスポーツ連携事業について
- オ 令和元年度千葉市スポーツ功労者について
- カ 令和元年度教育・文化・スポーツ功労者について

(2) 議 事

- ア 千葉市スポーツ推進計画の中間見直しについて
- イ 千葉市のスポーツ推進への提言(案)

5 議題の概要

(1) 報告

6項目の報告を行った。

(3) 議事

令和元年度に実施した市民意識調査の結果に基づき、千葉市スポーツ推進計画の中間見直しの方向性についてご審議いただいた。また、千葉市のスポーツ推進への提言についてご審議いただいた。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【笠井課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより「令和元年度第2回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。

本日の進行を努めます、スポーツ振興課の笠井でございます。

なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっておりますが、

本日傍聴者はありません。

会次第に従いまして、はじめに小川直哉会長よりご挨拶をお願いいたします。

【小川 会長】 皆さんこんにちは。本日は年度末のお忙しい中、令和元年度第2回スポーツ推進審議会にご出席いただきましてありがとうございます。ご承知のように、新型コロナウイルスが世界中に蔓延しておりまして、緊急事態となっております。本市におきましても大きなスポーツイベントはほとんど中止になりまして、春の選抜高校野球も中止、また女子ゴルフの開幕戦も中止となっております。大相撲やプロ野球オープン戦は無観客試合ということで、スポーツファンにとっては非常に寂しい状況が続いているところでございます。一番懸念されますのが、東京オリンピック・パラリンピックが開催できるかどうかでございまして、G7の会議では予定通り実施するというので、各国首脳からは反対はなかったというところでございますが、国際オリンピックの臨時理事会もあり、どうなるか予断を許さないというところでございます。私たちにできる事は、1日も早く新型コロナウイルスの蔓延状況が収束に向かうことを願うだけであります。今日の審議会は報告事項が6件、審議事項が、スポーツ推進計画の中間見直しと、本審議会から市への提言についてでございます。審議のほどよろしくをお願いいたします。

【笠井 課長 補佐】 小川会長ありがとうございました。続きまして生活文化スポーツ部長の那須よりご挨拶を申し上げます。

【那 須 部 長】 皆さんこんにちは。生活文化スポーツ部長の那須でございます。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また日ごろからスポーツ行政が皆様のご尽力をいただきながら進められておりますことを、この場をお借りしまして御礼申し上げる次第でございます。さて、先ほど会長からも話ございましたが、世界的に猛威を振るっております新型コロナウイルスでございまして、私たちの生活のみならず経済活動にも影響が出てきてしまっているというところでございます。また、当然のことながらスポーツ界にも大きな影響を及ぼしているというところでございます。本市におきましても、スポーツ行事や文化行事について基本的に市主催行事は中止ということ、また場所貸しについても規模縮小等お願いしているところでございます。学校につきましても休校ということで、延長してそのまま春休みという状況です。学校体育施設開放事業でございまして、4月5日まで、学校がお休みの間は休止をさせていただくという策をとっているところでございます。一方では市民生活への影響を極力少なくしていきたいという考え方もございます。そこで、今日から一部施設につきまして、クラスター発生の3条件のリスクを軽減させるために、換気や消毒や人を密集させないなどの対策が可能な施設につきまして、体育館や図書館も一部施設については本日から利用再開ということにしております。まだまだ厳しい新型コロナウイルスとの戦いの中ではございまして、目前に迫りました東京2020オリンピック・パラリンピックの準備も滞りなくやらなければいけませんし、また、レガシーについても本市の財産としてどのようにしていくのかということも、大きな取り組みとして考えていかなければならないと思っております。本日の審議事項でございまして、スポーツ施

策の方向性を示した千葉市スポーツ推進計画の中間見直し、及び2020年度に予定しているスポーツ推進計画の中間見直しに向けた考え方や方向性について、ご審議を賜れればと思っております。本日の会議全体では、6件の報告と審議事項が2件と盛りだくさんになりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。最後になりますが、委員の皆様方におかれましては、2年間にわたりスポーツ振興のために、慎重なご審議賜りましたことを御礼申し上げます。一旦は本日で最後となりますが、審議もどうぞよろしくお願ひいたします。

【笠井課長補佐】ありがとうございました。これからの進行につきましては、小川会長にお願ひいたします。

【小川会長】まず、「議事録署名人」について、先程、笠井課長補佐から説明があったように、本審議会が会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思っておりますが、よろしいですか。

【各委員】<異議なし>

【小川会長】それでは、議事録署名人として、小川重夫委員にお願ひしたいと思います。

【小川重委員】<了承>

【小川会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思っております。

最初に、報告(1)の「市民意識調査の結果について」、事務局よりお願ひします。

【草場主査】<資料1により報告>

【小川会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【小川重委員】するスポーツの数値目標を達成したというところですが、国の方は53.6%ということで昨年より低くなっており、千葉市においては逆に増えていることで大変評価できるのではと思っております。国の方の調査でなぜスポーツ実施率が減少したかという点、酷暑であったこと、自然災害があったこと、そのような影響があったのではないかとお願ひしておりますが、今後も酷暑が想定される中で、その対策や、本市におけるスポーツ実施率を維持し高めていくために、先ほど3つの上昇要因がありましたが、今後をどのように考えてお願ひしますか。

【山崎課長】国の数値を上回ったという現状ですが、前回は36%と低い数字からの上昇ですが、歩くことや散歩もスポーツという形や、10分歩けば運動という定義などを設けたことによって、国を上回る数値ができたかと考えてお願ひします。今後も審議会を踏まえまして、皆様のご意見をお伺いしながら維持していきたいと考えてお願ひします。

【五月女委員】先ほど、10分歩けば運動という定義がありましたが、例えばサイクリングなども何km以上や何分漕いだらなどの定義は今後でてくるのでしょうか。

【山崎課長】おっしゃられたことを参考に今後検討させていただければと考えてお願ひします。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは報告(2)、「WEBアンケート調査の結果について」、事務局よりお願ひします。

【草場主査】<資料2により報告>

【小川会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは報告(3)、「令和元年度スポーツイベントの開催状況について」、事務局よりお願ひします。

- 【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【小川 会長】千葉市は全面的にパラスポーツについてスポーツ施設を開放しているが、他市ではまだ公共施設で使用できないようなこともあるという話も聞いたことがあります。千葉市の近隣でもまだそのような状況があるのでしょうか。
- 【山崎 課長】千葉市ではすべての施設がバリアフリー対応で使用できるようになっております。県全域についてすべてを把握できているわけではありませんが、一部ではまだバリアフリー対応ができていない部分があると聞くこともあります。千葉県で東京オリンピック・パラリンピックが行われますので、それに向けて修繕をおこなうようなケースもあると聞いております。
- 【小川 会長】ほかに質問などありますか。
- 【委 員】<なし>
- 【小川 会長】それでは報告（４）、「令和元年度トップスポーツ連携事業について」、事務局よりお願いします。
- 【草場 主査】<資料４により報告>
- 【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【委 員】<なし>
- 【小川 会長】それでは報告（５）、「令和元年度千葉市スポーツ功労者について」、事務局よりお願いします。
- 【曾根担当課長補佐】<資料５により報告>
- 【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【委 員】<なし>
- 【小川 会長】それでは報告（６）、「令和元年度教育・文化・スポーツ功労者について」、事務局よりお願いします。
- 【曾根担当課長補佐】<資料６により報告>
- 【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【委 員】<なし>
- 【小川 会長】受賞者の選定基準はどのようになっているのか。
- 【曾根担当課長補佐】千葉県の受賞者も参考にしながら、全国レベルの大会実績を考慮しております。
- 【小川 会長】ほかに質問などありますか。
- 【委 員】<なし>
- 【小川 会長】それでは議事に入りたいと思います。議事（１）、「千葉市スポーツ推進計画の中間見直しについて」説明をお願いします
- 【草場 主査】<資料７により説明>
- 【小川 会長】今の説明について、何かご質問はありますか。
- 【前田 委員】スポーツ実施率の数値目標のところでは成人の割合を５０％以上という記載があるが、今回のアンケートは１８歳以上を対象としているということは、１８歳以上を成人とするという考えでしょうか。
- 【草場 主査】成人のスポーツ実施率ということで、あくまで２０歳以上ということで、目標としていきたいと考えております。
- 【前田 委員】みるスポーツについても同様の考えでよいか。
- 【草場 主査】みるスポーツについても同様に考えております。
- 【小川 会長】ほかに質問などありますか。

【委員】 <なし>

【小川会長】 それでは議事（２）、「千葉市のスポーツ推進への提言（案）」について、事務局よりお願いします。

【草場主査】 <資料８により説明>

【小川会長】 今の説明について、何かご質問はありますか。

【小川会長】 提言を受けた後、成果についての検証はしているのでしょうか。

【草場主査】 様々な事業において提言を反映させるように働きかけを行うほか、スポーツ振興課の事業においても提言を反映できるよう動いております。

【柴田委員】 提言はスポーツ推進計画に定めたという書き出しで始まっているが、スポーツ推進計画というものなぜやっているのかという根本のところも触れた方がよいのではないか。そうでないとなぜやっているのかを忘れ、数字のみを追いかけることに陥りかねないと考えます。

【草場主査】 スポーツ推進計画を定めた趣旨を提言に入れ込む形をとりたいと考えます。

【小川重委員】 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして何を残していくのか検討するということと、レガシーを施策に生かすという表現があります。東京オリンピック・パラリンピックが終わってからレガシーを考えるというのは遅いですし、そのような意味にも捉えられるので、もう少し具体的にレガシーを表現した方が良いと考えます。

【草場主査】 いくつかレガシーとして残りえるものとして検討している事業もあるので、そのようなものを含めた形で提言として入れ込むことができるよう考えます。

【山崎課長】 一例としては、車いすスポーツの聖地を本市が目指しており、学校訪問など、パラスポーツをみなさんがやっというここともレガシーとのひとつとしてやっしているところもありますので、それも併せて考えさせていただきます。

【柴田委員】 提言の最終版はどのような形で知ることができるのでしょうか。

【草場主査】 スポーツ振興課のホームページで公表させていただきます。

【小川会長】 他に何かありますかでしょうか。

【委員】 <なし>

【小川会長】 それでは議事につきましては以上といたしますが、全般にわたりまして改めましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。

【馬場委員】 馬場です。２年間ありがとうございました。アンケートの結果でボランティアの経験が低いというのは残念だなというのがあります。チーム千葉ボランティアネットワークという取り組みがありますが、最近感じるのはボランティアをやる側よりも、依頼する側の方の問題だと思っております。チーム千葉はやりたい人とお願ひしたい側をマッチングする仕組みなので、やりたい人はいても依頼側がうまく投げかけられないと機会は増えていかないと思うので、ボランティアを依頼する側を逆に育成していかないとボランティアをしたい人は増えていかないのではないかと気がします。チーム千葉はどちらかと言えばマッチングする機能でしかないので、ボランティアを依頼する側をうまく持っていくような施策をとれたらもっともっと増えるのではないかと感じます。学生をボランティアに連れて行くと、言わないと来ないですが、言えば来るということは、やりたい子はいるんだという、市民も潜在的にはやりたくないわけじゃなくてどう関わっていいかわからない、お願ひしたい方もどうお願ひしたらいいか、何をお願ひしたらいいかわからないという感

じだと思うので、そこを考えていかないとボランティア熱は高まらないのではないかと思います。パラスポーツもオリパラが終わって萎んだりなど、いろいろな状況になると思うので、健常者と障害者を分けるのではなくて、健常者と障害者が一緒になるようなイベントが増えるとレガシーになるのではないかと思いますので、例えば中高生の大会でも種目の一つにパラ競技がちゃんと入っていると、市民の大会でも健常者の大会に障害者も出ていると見てわかるという、そのような状況が少しずつでも増えてくれるといいと思います。

【本澤副会長】スポーツ推進委員の中でも、レガシーという話に絡んでくると思いますが、例年11月にレクリエーション大会というのが実施されます。今年はこれから提案になりますが、ソフトバレーが減ってきているという状況がありますので、空いたところにボッチャを少しずつ入れてみて定着するかどうか、研修はやっておりますが、専門的な団体などがあれば応援いただきながら勉強していこうかと考えております。

【小川会長】他に何かありますでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは以上で議事を終了します。ご協力ありがとうございました。2年間ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【笠井課長補佐】それでは、これをもちまして、「令和元年度第2回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後3時00分